



2021年12月27日

各 位

会 社 名 株式会社オーイズミ
 代表者名 代表取締役社長 大泉 秀治
 (コード：6428 東証第1部)
 問合せ先 取締役管理部長 北村 稔
 (TEL. 046-297-2111)

新市場区分におけるプライム市場選択の決定及び上場維持基準の適合に向けた計画書について

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関し、本日開催の取締役会でプライム市場を選択することを決議し、申請書を提出致しました。また、当社は移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記の通り、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、2021年6月30日時点における流通株式時価総額及び1日平均売買代金について、基準を充たしておりません。当社は各項目について2025年3月期末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買代金 (億円)
当社の状況(移行基準日時点) (2021年6月30日時点)	78,951単位	30.99億円	35%	0.11億円
上場維持基準	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
適合状況	○	×	○	×

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額を充たすための各種取組の基本方針、課題及び取り組み内容については、添付の『新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書』に記載のとおりです。

以上

**新市場区分のプライム市場
上場維持基準の適合に向けた計画書**

2021年 12月27日

株式会社オーイズミ

(コード番号6428 東証一部)

プライム市場申請に向けて

多くの機関投資家の投資対象となるプライム市場への上場は、当社ブランド力の向上は基より、新たな営業取引先、優秀な人材の獲得に繋がり、グローバルな市場環境においては、今後、海外事業展開を図るうえでも大切なステージであるものと考えます。また、当社はプライム市場における上場基準、並びにコーポレートガバナンスコードで要求される水準の充足に向け、各種施策、対応の検討を進め、極めて高い基準を遵守することにより、投資家からの信頼を一層高められるものと考えます。

上場企業に巡るこの変革を「第2の上場」の好機と捉え、中期経営計画を実行することにより、企業価値の最大化へ取り組む所存です。

プライム市場申請に向けて、2025年3月期末までの当社グループの持続的な成長の中期経営計画を策定いたしました。

新市場区分の適合状況

(1) プライム市場適合状況 (2021/7/9付 東証1次判定)

	上場維持基準	当社数値	判定
流通株式数	20,000単位以上	78,951単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	30.9億円	×
流通株式比率	35.0%以上	35.0%	○
売買代金	20百万円	11.5百万円	×

新市場区分の適合状況

(2) 修正後の各項目の数値

流通株式数、流通株式比率、流通株式時価総額、売買代金に関して、以後、本計画書では以下の実態を考慮し修正後の数値を基準とします。

- (1) 株価は2021年9月30日の株価 392円を適用。
- (2) 2021年9月30日現在の株式統計表に基づいて再試算。
- (3) 役員以外の特別利害関係者等の持ち分を考慮。
- (4) 売買代金については2020年10月から2021年9月までの平均。

	修正前	修正後	判定
流通株式数	78,951単位	63,728単位	○
流通株式時価総額	30.9億円	24.9億円	×
流通株式比率	35.0%	28.3%	×
売買代金	11.5百万円	11.8百万円	×

上場維持基準を充たしていない項目については、企業価値を向上させることにより、上場維持基準を充たしてまいります。

プライム市場適合スケジュール

2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期

計画書
提出

プライム市場
上場基準充足達成

- ①流通株式時価総額
100億円以上
- ②流通株式比率
35%以上
- ③売買代金
20百万円以上

2025年3月期までに

当社は

**時価総額100億円以上
流通株式比率35%以上
売買代金20百万円以上**

を目指します

プライム市場上場維持基準に向けた基本方針

(1) 基本方針

プライム市場上場維持基準を充たすための計画期間を「中期経営計画」の最終年度となる「2025年3月期末」とし、流通株式時価総額の増大に向けて、5つの重点課題の実現により企業価値向上を図ってまいります。

(2) 課題

当社は役員及びその関係者を中心とした非流通株主の保有する割合が多いことや、安定した業績に対して、IR不足により株価が適切に反映されていないことが本課題の背景と認識しており、不適合となっている「流通株式時価総額」「流通株式比率」及び「売買代金」を解消するためには、利益水準の向上に加え、非流通株式数の削減（または流通株式数の増加）による流通株式比率（流動性）の向上、ひいては売買代金の向上が課題であると捉えております。

プライム市場上場維持基準に向けた基本方針

(3) 取組項目

- ①当期純利益の増大
- ②流通株式比率の増加
- ③株主還元への取組
- ④IRと情報開示の充実
- ⑤コーポレートガバナンスの強化

① 当期純利益の増大

中期経営計画を策定し、その達成により企業価値を増大させます。

中期経営計画の当期純利益計画

(百万円)

	2022年3月期 (予想)	2023年3月期 (計画)	2024年3月期 (計画)	2025年3月期 (計画)
当期純利益	480	1,304	1,145	1,509

ご参考

※1 PER算出の基礎となった数値

2022年3月期 予想1株当たり当期純利益	21円34銭
2021年9月30日 当社株価	392円
2022年3月期 想定PER	18.4倍

※2 想定される流通株式時価総額算出の基礎となった数値

2025年3月期 当社当期純利益計画数値	1,509百万円
2021年9月30日現在 当社発行済株式総数	22,500,000株
2025年3月期 予想1株当たり当期純利益	67円06銭
2025年3月31日 想定される当社株価	1,233円
2021年9月30日現在流通株式数(1単元 100株)	63,728単元
想定される流通株式時価総額	78.57億円



②流通株式比率の増加

■当社の状況

※2021年9月30日時点

上場株式数	流通株式数	流通株式比率
22,500,000	6,372,858	28.3%
流通株式比率 35% ⇒ 1,502,142 株 不足		

当社は役員、役員の子親者及び役員が所有する資産管理会社の株式保有率が高く、その保有割合は70.3%となっております。

■改善方針

役員及びその資産管理会社を中心とした非流通株主となる既存株主様に対して、今後、株式の売却の働きかけを前提に進めてまいります。そのうえで、将来の利益の向上を加え施策の実行による流通株式数の増加(流通株式比率37%以上)を図り、流通株式時価総額100億円の達成を目指します。

想定流通株価時価総額＝想定株価(2025年3月末日)×想定流通株式数(流通株式比率37%と仮定)

$$102\text{億円} = 1,233\text{円} \times 22,500,000\text{株} \times 37\%$$

③株主還元への取組

●配当方針について

当社は、株主様に対する利益還元を図ることを経営の重要課題と考え、安定的配当を基本方針として実施してまいりましたが、今後は、安定的配当に加え、業績に応じた配当も検討し、配当性向30%～40%の株主還元を図ってまいります。

(参考 2021年3月期 配当性向 24.2%)

●株主優待制度について

株主優待制度につきましては、保有株式及び継続保有期間に応じて、当社グループ商品(蒟蒻ゼリー又は日本酒等)の贈呈を検討しております。

④IRと情報開示の充実

投資家向け説明会など継続したIR活動の強化

- ・ 毎期5月に決算補足説明資料を作成し、機関投資家向けの決算説明会の開催、並びに個人投資家向けにIRページにて動画の公開を実施予定（2023年3月期）
- ・ 中期経営計画の策定及び公表（2021年12月）

非財務情報の開示の充実

- ・ E S G・サステナビリティへの取組みを強化し、当社HP上で公表（2022年3月公表予定）

当社認知度の向上

- ・ メディア露出など、PRの活用

⑤コーポレートガバナンスの強化

当社は、新市場区分の趣旨を理解し、プライム市場に要求される水準を充足する企業を目指してまいります。

プライム市場に要求されるコーポレートガバナンスコードの実施状況は以下のとおりです。

コード名	主旨	現状	今後の予定
【補充原則1-2 ④】	議決権の電子行使のための環境作り、招集通知の英訳	狭義の招集通知の英訳は東証HPに開示済 議決権電子行使プラットフォームは利用していない	議決権行使プラットフォームについては採用を検討
【補充原則3-1 ②】	英語での情報開示・提供	狭義の招集通知、決算短信のサマリーは英訳を東証HPに開示済	さらなる開示の充実を検討
【補充原則3-1 ③】	気候変動リスクの開示をするべき	explain	当社の現状を調査し開示を検討
【原則4-8】	独立社外取締役の有効な活用 社外取締役を1/3以上とする	explain 社外取締役が1名	2022年3月期にかかる株主総会にて社外取締役を増員し、上場維持基準を充たす予定です。
【補充原則4-10 ①】	任意の諮問委員会の設置による指名・報酬などに関する独立社外取締役の関与・助言(獲るべき)	explain 社外取締役が1名	2022年3月期にかかる株主総会にて、社外取締役を増員し、独立社外取締役が過半数となる指名・報酬委員会を設置予定です。

中期経営計画書

2021年 12月27日

株式会社オーイズミ

(コード番号6428 東証一部)

基本方針に関する具体的取組

当社は2025年3月期までの、当社グループの持続的な成長の中期経営計画を策定いたしました。

上場企業に巡るこの変革を「第2の上場」の好機と捉え、中期経営計画を実行することにより、企業価値の最大化へ取り組む所存です。

中期経営計画

売上高

182億円

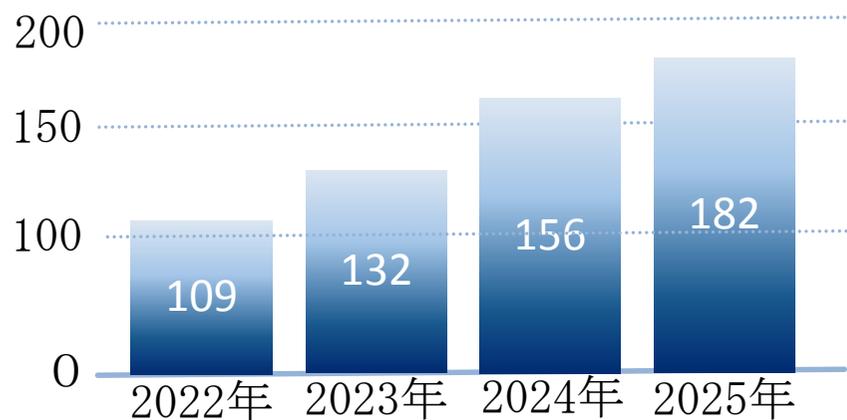
営業利益

26億円

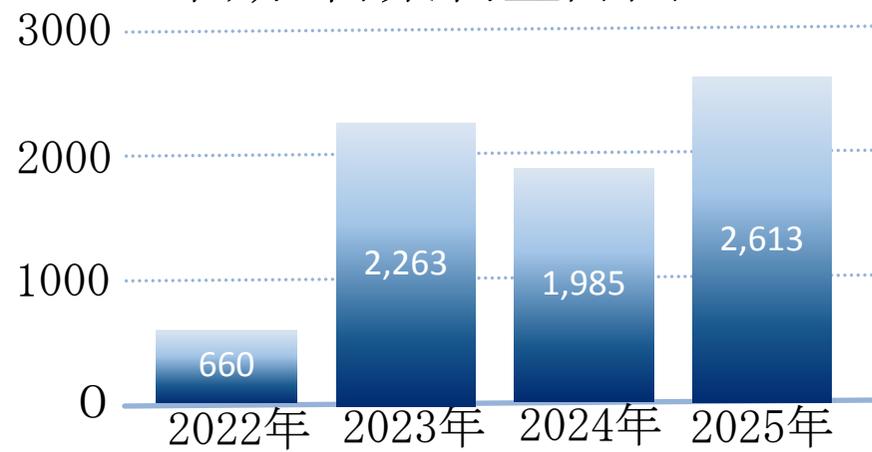
当期純利益

15億円

中期 売上計画 (億円)



中期 営業利益計画 (百万円)



(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	10,920	13,275	15,686	18,258
営業利益	660	2,263	1,985	2,613
当期純利益	480	1,304	1,145	1,509

基本方針に関する具体的取組

- 【基本方針 1】 遊技機事業の拡大
- 【基本方針 2】 CRユニット事業の拡大
- 【基本方針 3】 新規事業の立ち上げ
- 【基本方針 4】 安定収益事業の拡大

基本方針 1

今後、弊社の中核事業となる遊技機（回胴式遊技機）開発・製造・販売の展望は、過去に販売実績のある高稼働で高評価を得た優良コンテンツの活用と、独創性の高い技術力でマーケティングを活かした、遊技客に支持される他社が真似できない遊技機を市場投入していく予定です。また、2022年には遊技機規則の解釈基準の緩和により、幅広いゲーム性の開発が可能になったことで、新型コロナウイルスの影響などで減少していた遊技客の回復や、新規ユーザーの獲得に期待が持てる状況であると見込んでおります。

基本方針 1

当社は、今後の遊技機事業をチャンスと捉え、開発人員の増員と他ブランド体制の樹立を計画しております。同業他社とのアライアンスで、事業の合理化とコストダウンを実現していく所存です。遊技機事業として2023年3月期には第5弾の「なく頃に」シリーズに加え、過去に検定期限まで高稼働を続け多くのファンに愛された「仮称A」の後継機が発売予定となっており、通期の売上計画は約60億円を見込んでおります。また、2024年3月期には当社最大IP「仮称B」の後継機に加え、第6弾の「なく頃に」シリーズなどを市場投入する計画であり、2025年3月期以降も継続的に安定成長のシリーズ機に加え、新規コンテンツも手掛け、遊技機事業単体で売上100億円を目指します。

遊技機販売の歴史

2001年～2009年

～挑戦を続ける4号機時代～



● オーズミ初のパチスロ「リトルロック」発売

● 業界初テーブル型パチスロ「リニアフラッシュ」発売

● 業界初2リールパチスロ「元祖ハネスロ」発売



独創的な開発

遊技機販売の歴史

2010年



パチスロひぐらしのなく頃に祭

5号機時代運命的なコンテンツとの出会い

- 初期導入店舗での高稼働・高評価
- ホール稼働貢献40週！

知名度向上に貢献

©竜騎士07・07th Expansion/Frontier Works・Alchemist

遊技機販売の歴史

2011年～2019年

新たなコンテンツを模索した機種開発



●「パチスロ喰霊-零-」発売

●「パチスロうみねこのなく頃に」発売

●「パチスロ閃乱カグラ」発売

コンテンツに沿った開発

遊技機販売の歴史

2021年



パチスロひぐらしのなく頃に祭2

- 導入店舗での高稼働・高評価
- 初期ロット、再販ロット完売

業績に大きく貢献

遊技業界の現状

遊技機

遊技参加人口の減少

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

遊技機

旧基準機の全撤去

スマート遊技機を見据えた対応

厳しい市場環境の中、大きな転機を迎えている

遊技業界の現状

旧基準機の全撤去・スマート遊技機の市場における影響

遊技機購入の厳選

- 最新の基準を満たした遊技機の購入
- 実績を重視した確実性の高いコンテンツ・遊技機の選定

市場を見据えた開発体制が必要不可欠である

取組むべき課題

- 1 開発体制の強化：変化する規則への柔軟な対応
- 2 企画力の強化：独創的なゲーム性の創出
- 3 マーケティング強化：良質なコンテンツの取得と継続

競争力のある製品を継続的に市場投入

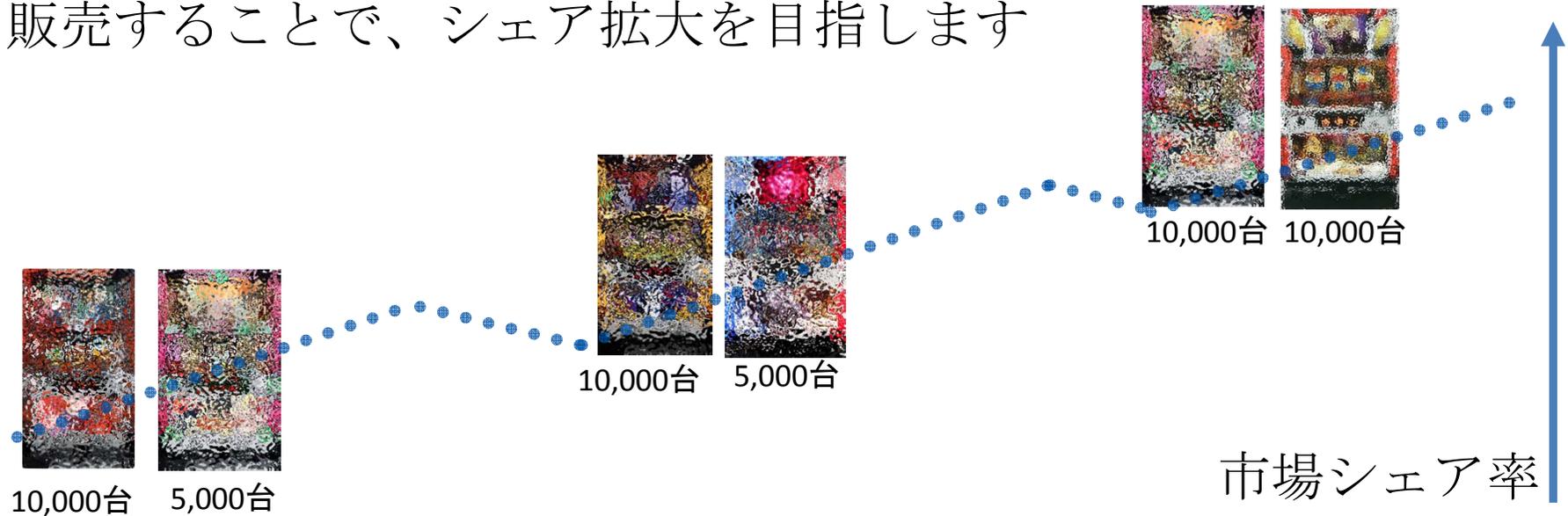
取り組み計画

2023年3月期

2024年3月期

2025年3月期

市場台数は減少しつつも、当社は安定台数を販売することで、シェア拡大を目指します



計画的に市場投入しシェアを拡大

基本方針 2

2022年秋よりスマート遊技機（遊技玉、遊技メダルを使用しない新たな遊技機）がホールへ本格導入され、現行ユニットは専用ユニットに交換されていきます。

当社は、カードユニット製造販売において後発メーカーであり、導入店舗は少数ですが、シェア率の向上の好機と捉え交換需要に向けて開発に取り組んでまいります。

また、2024年秋の改刷による新札対応の紙幣識別機（BV）の交換需要に向けて開発に取り組んでまいります。

基本方針 2

2022年秋スマート遊技機
本格導入

2024年秋スマート遊技機
移行がさらに進む

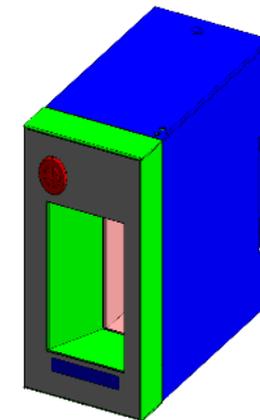
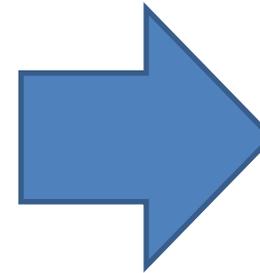
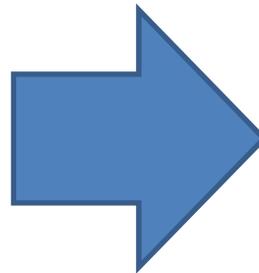
2023年秋スマート遊技機
移行が進む

2024年改刷により
BV交換

現行ユニット

専用ユニット

改刷(BV変更)



取組み計画

専用ユニットの販売計画は、2023年3月期3億円、2024年3月期15億円、2025年3月期19億円(専用ユニット+紙幣識別機)を見込んでおります。

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
専用ユニット販売店舗数	10店舗	50店舗	50店舗
専用ユニット販売金額	3億円	15億円	15億円
改刷紙幣識別機販売台数	—	—	40,000台
改刷紙幣識別機販売金額	—	—	4億円

基本方針 3

新規事業として2020年2月に蒟蒻ゼリー、蒟蒻・しらたき等のメーカーをM&Aにより傘下とし、2021年1月より当社グループは食品事業に本格参入しました。

2022年3月期売上予想23億円、2023年3月期売上計画25億円、2024年3月期売上計画30億円、2025年3月期売上計画35億円を見込んでおります。

同社製造工場は、2018年に食品安全システム認証の国際規格である「FSSC-22000」を取得しております。この認証は、消費者に対し食品を安全に提供することを目的としている食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。

基本方針 3

現在、蒟蒻を基本とした新商品開発に取り組んでおります。
また、シナジーのある食品メーカーのM&Aに取り組んで
おります。



蒟蒻ゼリー、蒟蒻の輸出

アジア圏を中心に香港、タイ、ベトナムでも人気のある蒟蒻ゼリーは、コロナ禍による輸出が低迷していたものの、徐々に回復傾向にあり、積極的に輸出に取り組んでまいります。

また、蒟蒻に関してもオーストラリアなど、板蒟蒻の需要があり販売を拡大させていきます。



蒟蒻ゼリー 既存商品ラインナップ

My Sweets 蒟蒻W の飲みぶどう&りんご	
NEW JAN 4955559 342995	
	12個×16袋
	縦 210mm
	横 160mm
	奥行 40mm
賞味 270日	
単品重量：245g/ケース重量:4300g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweets 蒟蒻W の飲みピーチ&マンゴー	
NEW JAN 4955559 343008	
	12個×16袋
	縦 210mm
	横 160mm
	奥行 40mm
賞味 270日	
単品重量：245g/ケース重量:4300g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweets 蒟蒻W の飲みマスカット&みかん	
NEW JAN 4955559 343015	
	12個×16袋
	縦 210mm
	横 160mm
	奥行 40mm
賞味 270日	
単品重量：245g/ケース重量:4300g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweetsソフトタイプぶどう味	
NEW JAN 4955559 343022	
	8個×16袋
	縦 195mm
	横 160mm
	奥行 30mm
賞味 270日	
単品重量：135g/ケース重量2500g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweetsソフトタイプもも味	
NEW JAN 4955559 343039	
	8個×16袋
	縦 195mm
	横 160mm
	奥行 30mm
賞味 270日	
単品重量：135g/ケース重量2500g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweetsソフトタイプりんご味	
NEW JAN 4955559 343046	
	8個×16袋
	縦 195mm
	横 160mm
	奥行 30mm
賞味 270日	
単品重量：135g/ケース重量2500g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweetsソフトタイプマンゴー味	
NEW JAN 4955559 343053	
	8個×16袋
	縦 195mm
	横 160mm
	奥行 30mm
賞味 270日	
単品重量：135g/ケース重量2500g	
ケースサイズ W 390 × H210 × D200 mm	

My Sweets蒟蒻カフェ 珈琲味	
JAN 4955559 342780	
	6個×16袋
	縦 195mm
	横 155mm
	奥行 30mm
賞味 270日	
単品重量：130g/ケース重量2400g	
ケースサイズ W 420 × H190 × D190 mm	

蒟蒻ゼリー 既存商品ラインナップ

My Sweets蒟蒻カフェ 抹茶味	
JAN 4955559 342797	
	6個×16袋
	縦 195mm
	横 155mm
	奥行 30mm
	賞味 270日
単品重量：130g/ケース重量 2400g	
ケースサイズ W 420 × H 190 × D 190 mm	

My Sweets蒟蒻カフェ 檸檬茶	
JAN 4955559 342902	
	6個×16袋
	縦 195mm
	横 155mm
	奥行 30mm
	賞味 270日
単品重量：130g/ケース重量：2400g	
ケースサイズ W 420 × H 190 × D 190 mm	

フローズンゼリーミックス	
JAN 4955559 342698	
	15個×12袋
	縦 210mm
	横 200mm
	奥行 40mm
	賞味 150日
単品重量：250g/ケース重量：3400g	
ケースサイズ W 420 × H 220 × D 220 mm	

My Sweets蒟蒻 メガパック60	
NEW JAN 4955559 343084	
	60個×6袋
	縦 320mm
	横 240mm
	奥行 100mm
	賞味 270日
単品重量：990g/ケース重量：6300g	
ケースサイズ W 390 × H 260 × D 200 mm	



特定保健用食品

My Sweets蒟蒻クローバー4×4	
JAN 4955559 342766	
	16個×12袋
	縦 210mm
	横 200mm
	奥行 40mm
	希望売価 300円
	賞味 270日
単品重量：340g/ケース重量：4300g	
ケースサイズ W 420 × H 220 × D 220 mm	

My Sweets蒟蒻EXぶどう味	
JAN 4955559 342483	
	6個×16袋
	縦 195mm
	横 155mm
	奥行 30mm
	希望売価 180円
	賞味 270日
単品重量：132g/ケース重量：2400g	
ケースサイズ W 420 × H 190 × D 190 mm	

My Sweets蒟蒻EXピーチ味 ※	
JAN 4955559 342490	
	6個×16袋
	縦 195mm
	横 155mm
	奥行 30mm
	希望売価 180円
	賞味 270日
単品重量：132g/ケース重量：2400g	
ケースサイズ W 420 × H 190 × D 190 mm	

My Sweets蒟蒻EXりんご味 ※	
JAN 4955559 342506	
	6個×16袋
	縦 195mm
	横 155mm
	奥行 30mm
	希望売価 180円
	賞味 270日
単品重量：132g/ケース重量：2400g	
ケースサイズ W 420 × H 190 × D 190 mm	

※現在休売中

蒟蒻 他、商品ラインナップ

■ 蒟蒻 (10種類以上)



■ しらたき (10種類以上)



■ さしみ蒟蒻



■ 玉蒟蒻



■ ところてん



基本方針 3

ドッグフードの新規開発

ペットと家族同然に暮らす事が当たり前となった昨今、ペットの食事も家族同等、またはそれ以上にこだわる飼い主様が多くなりました。人間の食への趣向が千差万別なようにペットにも同様の事が言えます。栄養の補助や機能性を持たせ食の質を高めたり、苦手なものを克服するための補助としても役立つような「高品質かつ希少価値・機能性の高いフードの提供」を目指し、ライフステージに合わせ、飼い主がコントロールできる次世代フードなど、ペットの高齢化、付加価値、希少性をキーワードに開発を進めております。

新規開発製品

- ・デンタルスティックガム
スティックガム自体の形状による新しい食感、口臭を軽減、
デンタルケアの習慣化
- ・グレインフリー（穀物を含まない）のドッグフード
アレルギー対策
- ・栄養バランスを考えた素材（野菜）の配合

ブランド戦略

蒟蒻を使用した商品は「蒟蒻工房」とネーミングし
商標登録と広告宣伝をしております。



メットライフドーム（西武ドーム） 看板掲載中

基本方針 4

SDGsは未来のあり方であり、企業として対応することが必要であると認識し、私共は太陽光発電事業に取り組んでおります。

2021年3月期は4億円の営業利益を計上し、2022年3月期は4億2600万円の営業利益を予定しております。

また、不動産事業につきましては、毎事業年度2～3件の優良物件を取得し、不動産事業の収益を伸長、2022年3月期においては、2021年5月に東京都千代田区内、及び、2021年10月に神奈川県横浜市旭区内に収益ビルを取得いたしました。

太陽光発電所



厚木第1・第2太陽光発電所（神奈川県厚木市）



栃木太陽光発電所（栃木県那須郡）

オフィスビル・商業施設



厚木本社ビル
厚木市中町



東上野ビル東館・東上野ビル西館
台東区東上野



本厚木ビル
厚木市中町



市川南大野店舗
市川市南大野



クリスタル相模原ビル
相模原市中央区相模原



海老名セントラルビル
海老名市中央



アサヒヤマトビル
大和市大和東



浜松店舗
浜松市東区安新町



相模原TOBビル
相模原市中央区相模原



東上野第2ビル
台東区東上野



サ・ゲート水道橋ビル
千代田区神田三崎町



二俣川257ビル
横浜市旭区二俣川

メディアビル・マンション



Ts garden 藤沢長後ビル
藤沢市長後



海老名駅前クリニックモールビル
海老名市中央



モナーク相模原三番館
相模原市中央区相模原



アーク本厚木
厚木市旭町



二俣川メディカルビル
横浜市旭区二俣川



グレイズビル葛が谷ビル
横浜市都筑区葛が谷



ウエルカーサあざみ野
横浜市青葉区荻田町



西台伏見ビル
板橋区高島平



二俣川第7パレス桜咲ビル
横浜市旭区本村町



座間ビル
座間市入谷



鷺宮ダイヤビル102
中野区鷺宮

注記事項等

本資料に記載いたしました業績見通し等の情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

従いまして、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約あるいは保証するものではありません。